



## 荘厳な雰囲気にもまれて 「平等寺本尊初会式」が再興される 1/16

四国八十八箇所霊場第22番札所の平等寺で、約50年ぶりに本尊初会式が再興されました。新野公民館から平等寺まで、着飾った子どもやお遍路さんなどの行列が練り歩くと、周辺は荘厳な雰囲気に包まれました。そのほか、中村園太夫座による「式三番叟」やもち投げ、講演会、綱引き大会、音楽奉納など多彩な催しが行われ、1日中多くの来場者でにぎわいました。

## 1/20 中林海岸にクジラが漂着

中林海岸に体長約10メートルのマッコウクジラが漂着しているのを地元住民が発見しました。駆けつけた地元漁協や消防団などの懸命の救出で沖へ誘導しましたが、翌朝、亀崎漁港の沖でわかめの養殖網に尾をからませているのを発見。再度沖へ放つものの、再び中林海岸南の岩場に漂着しているのを発見され、23日死亡が確認されました。



## あななんアリーナで 少年フットサル大会を開催 1/23

昨年7月にオープンしたあななんアリーナ（屋内多目的施設）で、「第1回あななんカップ阿南少年フットサル大会」が開催されました。市内10チーム150人が参加。選手は、新しい施設で気持ちよさそうにプレーしました。優勝した羽ノ浦コスモスの川田理貴さん（12歳）は、「あななんアリーナは走りやすく、パスが良くつながりました」と話していました。

## 2/6 「人権教育研究大会」を開催

人権教育や啓発活動の具体的な実践について研究する「阿南市人権教育研究大会」が夢ホールを主会場に行われ、680人が参加しました。講演会では、講師の香川人権研究所の喜岡 淳さんが「身元調査など人権侵害をなくすためにも本人通知制度に登録しよう」と訴えました。また、午後からは6つの分科会に分かれ、人権問題解決のための研究討議が行われました。

